

【新型コロナウイルス感染拡大防止措置(バリ州政府:3月23日公表)】

令和2年3月24日(総20第33号)

在デンパサール日本国総領事館

●23日、バリ州知事は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、バリ州民に25日のニュピ祭日に続き、26日も自宅で過ごすよう要請しました。

●今後の状況の変化により、さらに追加的な措置等が執られるも可能性がありますので、最新情報の入手に努めるとともに、感染の予防に努めてください。

1 23日、バリ州知事は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、犠牲者の増大を防ぐために、より一層警戒を高める必要があるとして、25日のニュピ祭日に続き翌26日も自宅で過ごすよう州民に要請しました。最も効果的な予防策は、自宅外での活動を制限し他者との接触を減らすことと呼びかけています。また、バリ州知事の要請を受け、24日ギャニャール県は26日の外出禁止及び車両の通行禁止するとの指示を発出をしています。

2 なお、26日当館は人員体制を縮小して通常業務を行う予定ですが、状況によっては対応にお時間をいただく可能性があります。今後の体制については改めてお知らせいたします。

3 バリ州に滞在する邦人の皆さまにおかれては、今後の状況の変化により、さらに追加的な措置等が執られるも可能性がありますので、最新情報の入手に努めるとともに、感染の予防に努めてください。

(参考)バリ州知事の要請内容(抜粋)(仮訳)

全てのバリ州住民に以下を伝える。

1)我々は、バリ州において新型コロナウイルスの感染拡大がさらに高まりを見せていることに真剣に留意する必要がある。

2)感染拡大により更に多くの犠牲者が生じないよう、警戒をより一層高め対応を進める必要がある。

3)予防のための最も効果的な対策は、自宅外での活動を制限し、他者との接触を減らすことである。

4)以上を踏まえ、全てのバリ州住民に対して、2020年3月26日(木)は引き続きそ

それぞれの自宅で過ごすよう要請する。

5) 本件要請を秩序を持って実行するよう要請する。